

平成20年度 受賞者

高円宮殿下記念地域伝統芸能賞

秋田市竿燈会（秋田県秋田市）

地域伝統芸能大賞 保存継承賞（第1類）：地域伝統芸能の実演に係わる団体又は個人

黒丸踊保存会（長崎県大村市）

地域伝統芸能大賞 活用賞（第2類）：地域伝統芸能を活用した行事の実施主体

五箇山麦屋・こきりこ祭り実行委員会（富山県南砺市）

地域伝統芸能大賞 支援賞（第3類）：衣装、用具等の製作、人材等の確保に係わる団体又は個人

長嶋 作造（大分県日田市）

地域伝統芸能大賞 地域振興賞（第4類）：その他特に顕著な貢献のあったもの

桐生八木節まつり協賛会（群馬県桐生市）

地域伝統芸能奨励賞

中村 瑞希（鹿児島県奄美市）

受賞者 プロフィール

高円宮殿下記念地域伝統芸能賞

秋田市竿燈会（秋田県秋田市）

竿燈まつりは、250年を超える歴史がある、東北を代表する祭りの一つで、毎年8月に秋田市で行われる。竿燈全体を稲穂に、連なる提灯を米俵に見立て、手の平、額、肩、腰などに乗せ、五穀豊穡を祈る。大きいもので、高さ約12m、重さ約50キロにもなる竿燈を操る妙技は圧巻であり、240本もの竿燈が会場となる竿燈大通りを埋め尽くす様子は、光りの大河を思わせ幻想的である。

秋田市竿燈会は、町内・企業の差し手（竿燈をあげる人）・囃子方が所属する団体で、竿燈の伝承とまつりの中心的存在として活躍している。



地域伝統芸能大賞 保存継承賞（第1類）：地域伝統芸能の実演に係わる団体又は個人

黒丸踊保存会（長崎県大村市）

文明12年（1480年）大村領主の領地奪還を祝って舞ったのが起源と言われ、毎年11月の法養祭などで奉納される。

出演者は、武士姿の男の子8人、花籠4人（紺の法被・手甲・脚絆・豆絞りの鉢巻き姿で、前に大太鼓を抱き、直径4.8m・重さ約60kgの大花輪を背負っている。）、「大薩摩（さつま）黒丸踊り」と書いた大旗2人、はやし方として鉦（かね）・鼓（づつみ）・笛・地太鼓・三味線・歌い手がいる。

目がさめるような大花輪や大旗を背負い、大太鼓を打ちながら踊る様子は勇壮で全国有数の華やかさである。



地域伝統芸能大賞 活用賞（第2類）：地域伝統芸能を活用した行事の実施主体

五箇山麦屋・こきりこ祭り実行委員会（富山県南砺市）

毎年9月に南砺市の旧平村で行われる祭り。

前半は下梨地主神社境内で「五箇山麦屋まつり」が行われ、後半は上梨白山宮境内で「こきりこ祭り」が行われ、五箇山民謡保存団体が舞台上で総出演するほか、一般客が参加できる踊りの講習会や総踊り、のど自慢コンクールなども併せて実施される。

昭和48年には「五箇山の歌と踊」が国の無形文化財に選択されている。

平成元年に「五箇山麦屋まつり」と「こきりこ祭り」の2つの祭りの開催日をつなげ、4日間、いつでも五箇山民謡が楽しめるようにした。

実行委員会は地域住民及び観光客と一体になって祭りを推進し、この期間は祭り一色となり、地域の活性化に大きく貢献している。



長嶋 作造（大分県日田市）



日田祇園は、約350年前に夏の厄除け行事として始まったと伝わっている。祭神は素盞鳴尊（すさのおのみこと）。豆田八坂神社・隈八坂神社・竹田若宮神社の三社の祭礼行事で、平成8年に国の重要無形民俗文化財に指定された。御輿の御神幸にお供する山鉾は、現在8つの町内に9基が造られている。全て町内の人たちによる手作りで、日田唯一の祇園人形師「長嶋作造」の手により歌舞伎を題材とした人形が作成され、飾られている。この飾りは毎年変えられるが、日田祇園山鉾会館では隈・竹田地区の山鉾を常設展示している。

桐生八木節まつり協賛会（群馬県桐生市）



八木節は群馬県桐生市、太田市、館林市、栃木県足利市を中心とした地域で生まれ、育まれた民謡である。桐生市最大のイベントである桐生八木節まつりは、市内各所での八木節おどりのほか、みこし渡御・子どもみこしまつり・全日本八木節競演大会・ダンス八木節・ジャンボパレードなど多彩なイベントが繰り広げられる。市内外から訪れるまつりファンが八木節を楽しんでいる。昭和39年に春の商工祭、夏の祇園祭、七夕祭、秋の桐生祭、その他の祭礼をまとめて、第1回桐生まつりとして開催された。桐生八木節まつり協賛会は桐生八木節まつりの主催者である。

中村 瑞希（鹿児島県奄美市）



小学校5年生から地元の島唄クラブで本格的に島唄を始め、中学在学時より島唄大会において好成績を収める。平成10年に奄美民謡大賞で新人賞を受賞し、以後、県、九州、全国大会において数々の賞を受賞している。また、後継者育成にも活躍しており、自分が育った島唄クラブにおいて、小学生、中学生を指導するとともに、「大笠利島唄クラブ」において、毎週土曜日に地元の後輩を指導するなど島唄の保存伝承にも努めている。多忙な中、島内外の各種イベント、物産展に出演し、奄美のPR、島唄の普及に貢献している。